

広告

凍る息

◎ 石狩随想

70

今冬、北極圏で誕生した寒気は、大陸を横断し幾度となく北海道を覆いつくしている。さらに、日本海をわたる際、渴きを癒やすようにたっぷり湿気を吸って沿岸部に豪雪をもたらしている。昨年引き続きの厳しい冬となった。降雪、積雪とも記録を更新するに違いない。浜益区では正月明け瞬間風速37メートルと大型台風並みの風に襲われ、被害も広範となった。▼さしもの大型LNG船も入港を延ばしたり、道路の排雪は年明け早々から始まった。早速、補正予算の財源は大丈夫だろうかと現実問題を前にし、寒さも一層身にしみる。陰暦では2月を如月（にがひげ）と称する。その語源は諸説有るらしいが、衣（き）を重ね着するほど寒い季節の意をもつているとのこと。家庭、市役所内でも重ね着が目につく。節電もあつて今様衣（いまよう）更着（さらか）はエネルギーリスクを、身をもつて考える機会となっている。

▼温度が1度下がると全道の消費電力は、4〜6万キロワット増えると言う。既に平均気温差は誰しもが大きいと感じる領域に入っている。気象の変化は歴史的にも大転換の構成要素となっている。さて、この寒さは何をどうしようとしているのだろうか。気をもむ日は続く。(市長)

編集・発行／石狩市企画経済部市長政策室秘書広報課 〒061-8292 北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2 Tel.0133-72-3145 Fax.0133-74-5581
 【ホームページ】 <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/> 【携帯電話用HP】 <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kei/> 【EX-URL】 nisyokohno@city.ishikari.hokkaido.jp 【印刷・製本】株式会社アイノード

この広報は再生紙を使用しています。印刷の年号は、天竺利用の印刷物であることを示しています。
